

課コード	002201	作成日	
所属名	公園課	作成者	

政策名(上位目的)
市民に親しまれる公園緑地の整備
目の名称
公園事業費

計画コード	分野	部	課	施策・事務事業
	款	項	目	事項
科目コード	36	26	46	06
(旧科目コード)	36	26	56	

事業名			戦略性
みんなでつくる公園事業			
事業概要			
目的	(対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
市の公園は地元の見解を取り入れて整備をしていますが、より公園に愛着を持っていただくために、地元の皆さんの協力による公園づくりや、公園に記念樹を自分で植えたりしていただいている。		平成 7 年	未定 年
活動内容			
<p>1 マイパーク公園事業 地域の皆様のご協力をいただき、ベンチや花壇を設置したり、草花を植えたりして、楽しく公園をつくる事業。</p> <p>2 みんなの木育成事業 地域のシンボルとなるような「大きな樹」に育つ木を、地域の皆さんで植えていただき、育てていただく事業。</p> <p>3 公園に樹木を植えよう事業 市民の皆さんの寄付で用意した樹木を、記念樹として自らの手で植えていただく事業。 ・毎年4月29日(昭和の日)に市内の公園で市民の皆さんの参加により実施している。</p>			
		実施根拠(法令、条例等)	新市建設計画事業
義務的事業	任意的事業		ワークショップ提案事業
			×
事業運営方法			
直営	一部委託	全部委託	補助等

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
事業費(千円)		1,700	1,791	1,565	1,000			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
	その他							
	一般財源	1,700	1,791	1,565	1,000			
人件費		800	800	800	800			
内訳	人工	0.1	0.1	0.1	0.1			
	単価	8,000	8,000	8,000	8,000			
計	年間経費	2,500	2,591	2,365	1,800			
	受益者負担率	0	0	0	0			

性質別内訳		扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資的経費	公営企業
平成	人件費											
18	800										1,791	
19	800										1,565	
20	800										1,000	

定量評価						
指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
記念植樹(年間60本以上)	目標	本	60	60	60	60
	実績	本	127	127		
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	2,591	2,365	1,800		
単位当たり経費	千円/単位	20	19			
単位当たり経費変動率	%		91.3%			

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	本				
	実績	本				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円					
単位当たり経費	千円/単位					
単位当たり経費変動率	%					

定性評価

過年度の実施内容

[平成18年度]
 ・マイパーク公園事業: 初生追分公園でベンチの設置・低木植栽と、本竹公園で花壇の花の植付け等を実施。
 ・みんなの木育成事業: 初生追分公園で記念植樹としてヤマボウシの植樹を実施。
 ・公園に樹木を植えよう事業: 都田総合公園(ソメイヨシノ90本)と可美公園(ハナモモ37本)で計127本の植樹を実施。
 [平成19年度]
 ・マイパーク公園事業: 野口公園で花壇の花の植え付け・樹木のネームプレートの設置を実施。
 ・公園に樹木を植えよう事業: 都田総合公園(ソメイヨシノ78本)と可美公園(ハナモモ49本)で計127本の植樹を実施。

H20 事前 評価	必要性	(分析・理由)
	A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い 公園整備に参加・協力していただくことで、地域の公園に愛着を持っていただくとともに、公園を大切に利用していただく。
H20 事後 評価	行政関与の妥当性	(分析・理由)
	A	A 高い B ↑ C ↓ D 低い ワークショップ等を開催して地域の意見を取り入れた公園を計画したり、地域の公園愛護会の設立を指導・支援して、愛護会が参加する公園管理を目指している。
H20 事後 評価	有効性	(分析・理由)
	A	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない 毎年、事業への参加者も多く、予定の植樹本数を上回る植樹が実施され、地元の皆さんの協力による公園整備に対する理解が深まり、地域の公園に対する愛着を深めていただいている。
H20 事後 評価	効率性	(分析・理由)
	D	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない

今後の事業展開

規模	(分析・理由)
現状	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止 事業に対する市民の理解や要望も高く、参加者も多いことから、今後も地域の皆さんの協力による公園整備を推進する。

具体的な改善内容・事業の方向性等

新たに策定する緑の基本計画を基本とし、市民の皆さんの協力による事業を進めることで、市民に愛される公園整備を図る。

(問題意識)
 市民の皆さんの協力による公園整備に対する理解も深まり、事業への期待も多いところから、より多くの市民の皆さんが参加していただけるよう、植樹本数を増やしたり植樹場所を確保するとともに、あらかじめ植樹を想定した公園整備が必要であると考えます。

(想定結果)
 市の実施が適当なもの

(備考)事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘

みんなでつくる公園事業の継続に対して、市民(自治会)等からの多くの要望がある。